

春の剣岳へ行く

春山情報 第1号・剣岳より

2001.3/12, 3/14 上市・伊折

富山より、[春山情報第1号](#)をお知らせします。

3月の新雪で、例年は堅雪〔地元では、かたしんばともいうー春に雪がしまり、朝方に、田んぼなどの野山の雪上を自由に歩ける状態〕も見られるのに、先日の名残り雪で野山は、まだまだまだ、スノーシュー・輪かんじきが必要な状態です。立山への除雪も急ピッチで進められています。雪は多いのですが、例年通り、連休までには、室堂、天狗平まで開通の予定です。

見て下さい。このタイミングのよさ。ちょうど、上の写真は、富山県警のヘリコプターの「つるぎ」をとらえたのですが、その活動の様子が、今日の新聞に載りました。それが右の写真です。おりしも、私が今日春山情報第1号をだそうとしていたので、タイミングがピッタリでした。続いての除雪車は、これから馬場島までの除雪活動の風景、現在、ロータリー車など、5台の除雪車が用意されている。



左は3/12に撮影。右は3/14に撮影。

今日は、スノーシュー・かんじきを用意して、行動範囲を広めた。

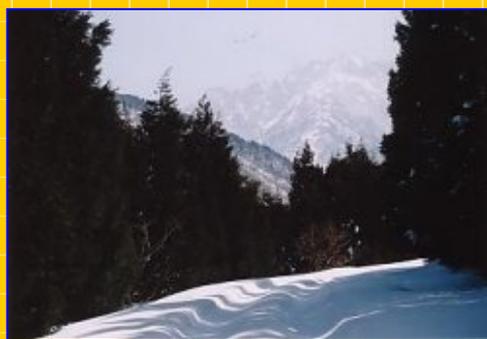
この調子だと、馬場島へ行く前に、近くの「大倉山」などの撮影ポイントに登れそうです。

早月川の雪解けの水がまぶしいくらいに輝いていました。この日は、日中にもかかわらず、かんじきで、実に簡単に川の側まで活動できました。もちろんスノーシューでも大丈夫です。

あまり高いところがにがてのみなさんは、ここの素晴らしい景色を眺めながらの散策は最高だと思いますよ。・・・是非、足を伸ばしてはいかがでしょうか。



一般車両が入れる、最終地点、伊折の部落です。遠くに見える車は、県警山岳警備隊のものです。次の写真は、そこからの閉ざされた道です。これは、車の跡ではありません。今年配備されたばかりの雪上車の跡です。



やはり、剣岳・馬場島と言えばこの角度ですね・・・伊折からここまで、行かないと、小窓尾根までしっかり見えません。でももうすぐ行けます。

丁度、この角度、馬場島・中山からの眺める角度にもなります。
前の最新情報1、最新情報2を参考にして下さればよく解かります。



雪は降っても、3月はやはり春。今日は、地元の早月川沿いの近道が、不通のため、久しぶりに、上市側から馬場島方面へ撮影に行った。左の写真は、上市駅から馬場島へ向かう途中の上市川から、剣岳を望んだものである。ここからの剣岳は、

ふもとでは、富山で唯一真近に見える場所である。毎日変化する様子は感動である。時折り、はっとするほど、「剣岳」が近くに見えるときがあり、圧巻である。

右の写真は春を感じさせる「ねこやなぎ」
ぎらぎら輝く「川面」に映える姿は、きれいだ。

